

## 2023年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月13日

上場会社名 株式会社エンゼルグループ 上場取引所 東  
 コード番号 5534 URL <https://www.angel.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新保 光栄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 徳畑 哲司 TEL 03 (6256) 0155  
 定時株主総会開催予定日 2023年11月28日 配当支払開始予定日 2023年11月28日  
 発行者情報提出予定日 2023年11月29日  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年8月期の連結業績（2022年9月1日～2023年8月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期	8,485	12.2	356	△7.9	418	△6.6	1,166	304.1
2022年8月期	7,561	28.5	386	—	448	—	288	—

(注) 包括利益 2023年8月期 1,166百万円 (304.1%) 2022年8月期 288百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年8月期	279.59	—	9.9	2.4	4.2
2022年8月期	65.03	—	2.6	2.6	5.1

(参考) 持分法投資損益 2023年8月期 ー百万円 2022年8月期 ー百万円

- (注) 1. 2023年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2023年8月期において非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。
2. 当社は、2023年2月6日付で普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。そのため当該株式分割が2022年8月期の期首に行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年8月期	17,992	12,238	68.0	3,059.98
2022年8月期	16,823	11,446	68.0	2,577.93

(参考) 自己資本 2023年8月期 12,238百万円 2022年8月期 11,446百万円

- (注) 当社は2023年2月6日付で普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。そのため当該株式分割が2022年8月期の期首に行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年8月期	△733	△225	384	11,629
2022年8月期	△1,141	△545	50	12,204

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00	—	—
2023年8月期	—	0.00	—	1.00	1.00	3,999	0.36	0.04
2024年8月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2024年8月期の配当予想については、現時点で未定であります。

### 3. 2024年8月期の連結業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,495	4.3	178	△46.5	182	△47.5	174	△84.8	43.58
通期	9,498	11.9	418	17.5	428	2.5	359	—	89.87

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：有  
 ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P11「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年8月期	4,440,000株	2022年8月期	4,440,000株
② 期末自己株式数	2023年8月期	440,500株	2022年8月期	—株
③ 期中平均株式数	2023年8月期	4,173,286株	2022年8月期	4,440,000株

(注) 当社は2023年2月6日付で普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。そのため当該株式分割が2022年8月期の期首に行われたと仮定して、「期末発行済株式数」「期末自己株式数」「期中平均株式数」を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

2023年8月期の個別業績 (2022年9月1日～2023年8月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期	510	30.2	70	—	168	—	170	—
2022年8月期	392	9.1	5	△76.5	4	△79.4	3	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期	40.75	—
2022年8月期	0.71	—

(注) 1. 2023年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2023年8月期において非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。  
 2. 当社は、2023年2月6日付で普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。そのため当該株式分割が2022年8月期の期首に行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年8月期	2,029	1,613	79.5	403.53
2022年8月期	1,956	1,818	92.9	409.52

(参考) 自己資本 2023年8月期 1,613百万円 2022年8月期 1,818百万円

(注) 当社は2023年2月6日付で普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。そのため当該株式分割が2022年8月期の期首に行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する事項は、本資料発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
(5) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(会計上の見積りの変更) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、3年以上続く新型コロナウイルス感染症の影響が緩和しつつあった中、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の日本国内における感染症法上の取扱いが「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）」から「5類感染症」へ移行したことにより、経済活動の正常化が一気に加速しました。

しかしながら、ウクライナ情勢の長期化や原油価格・原材料等の高騰、急激な円安に伴う物価の上昇などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

リゾートを取り巻く環境としましては、2022年10月から始まった全国旅行支援や入国制限の解除による外国人観光客の増加により、コロナ禍前に近い状況まで回復してまいりました。

当社グループにおきましても、宿泊部門では全国旅行支援などの追い風もあり、冬のスキーシーズン・夏のリゾートシーズン共に、宿泊客がコロナ禍前に近い状況まで回復いたしました。新たな取り組みとしまして、愛犬と一緒に泊まれる宿泊施設として2023年7月に『エンゼルフォレスト那須』を、2023年8月には『エンゼルフォレスト中伊豆』をオープンいたしました。また、『エンゼルフォレスト白河高原』内にテナントを建設し、複合リゾートとしてさらに充実した施設となっております。

管理部門では、マンション管理で管理棟数を8棟増やしております。別荘地管理では2023年4月に『エンゼルフォレスト那須』の管理を開始いたしました。

不動産部門では、自社保有物件の販売強化のため買取も強化してまいりました。また、グループの総合力を活かすべく、2023年6月に那須店を新規オープンしております。

この結果、当連結会計年度の売上高は8,485,321千円（前年比12.2%増）、経常利益は418,419千円（前年比6.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,166,810千円（前年比304.1%増）となりました。

なお、当社グループはリゾート事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における資産合計は17,992,368千円となり、前連結会計年度末に比べ1,168,927千円増加いたしました。これは主に、宿泊施設オープン等に伴う建物及び構築物が1,079,359千円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当連結会計年度末における負債合計は5,753,971千円となり、前連結会計年度末に比べ376,542千円増加いたしました。これは主に、長期借入金が779,854千円、事業譲受等に伴いその他の固定負債が948,974千円増加した一方、繰延税金負債が923,572千円、企業結合に係る特定勘定が452,477千円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は12,238,397千円となり、前連結会計年度末に比べ792,385千円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が1,166,810千円、自己株式が374,425千円それぞれ増加したことによるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は11,629,404千円で、前連結会計年度末に比べ575,508千円減少しております。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、733,872千円の資金の減少となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益332,077千円、法人税等の支払額607,106千円、環境対策費用の支払額399,330千円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、225,716千円の資金の減少となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出1,181,721千円、事業譲受による収入955,588千円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、384,080千円の資金の増加となりました。

これは主に、長期借入による収入972,400千円、自己株式の取得による支出374,425千円等によるものであります。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主に対する利益還元を重要な経営課題として認識し、業績の状況、取り巻く環境及び中長期を展望した財務体質を勘案し、継続的かつ安定的に配当を実施することを基本方針としております。

上記の方針のもと、当期の期末配当につきましては、1株当たり1円とさせていただきます。

なお、次期の期末配当につきましては、現時点では未定であり、金額が決定次第、速やかに公表させていただきます。

	決定額	直近の配当予想	前期実績 (2022年8月期)
基準日	2023年8月31日	2023年8月31日	2022年8月31日
1株当たり配当金	1円	—	0円
配当金総額	3,999,500円	—	—
効力発生日	2023年11月28日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

(5) 今後の見通し

今後の見通しとしましては、新型コロナウイルス感染症の影響により低迷していた経済活動正常化の動きが見られていること、円安等の影響によりインバウンド需要が増加すると考えられること、観光のみならず首都圏からの移住も引き続き需要があることなどから底堅い状況で推移すると予想しております。

一方で、原材料・エネルギー価格の高止まりやロシア・ウクライナ問題の長期化などの影響は続いており、コスト面では引き続き予断を許さない状況が続くと考えております。

上記を踏まえ、2024年8月期の通期連結業績予想につきましては売上高9,498百万円、営業利益418百万円、経常利益428百万円、親会社に帰属する当期純利益につきましては359百万円を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当連結会計年度 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,725,547	12,150,047
受取手形及び売掛金	399,102	468,059
販売用不動産	1,206,850	1,171,556
商品及び製品	74,887	83,011
未成工事支出金	55,558	113,391
原材料及び貯蔵品	39,091	44,637
その他	317,053	775,578
貸倒引当金	△19,392	△34,999
流動資産合計	14,798,697	14,771,282
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	676,547	1,755,907
機械装置及び運搬具（純額）	82,460	100,772
工具器具備品（純額）	42,817	88,319
土地	637,990	712,849
建設仮勘定	196,395	155,376
有形固定資産合計	1,636,212	2,813,225
無形固定資産	27,498	29,580
投資その他の資産		
投資有価証券	40,267	267
長期貸付金	63,826	58,943
繰延税金資産	120,360	147,178
その他	144,434	187,360
貸倒引当金	△7,857	△15,469
投資その他の資産合計	361,031	378,280
固定資産合計	2,024,742	3,221,085
資産合計	16,823,440	17,992,368

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当連結会計年度 (2023年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	118,140	117,714
工事未払金	39,904	64,634
短期借入金	250,000	250,000
1年内償還予定の社債	140,600	140,600
1年内返済予定の長期借入金	45,789	165,040
未払法人税等	304,098	23,161
契約負債	248,152	446,110
賞与引当金	78,613	79,957
資産除去債務	—	17,988
その他	672,956	774,454
流動負債合計	1,898,255	2,079,661
固定負債		
社債	444,000	303,400
長期借入金	474,712	1,254,566
繰延税金負債	923,572	—
退職給付に係る負債	7,988	7,988
資産除去債務	58,967	41,924
企業結合に係る特定勘定	1,522,298	1,069,821
その他	47,634	996,609
固定負債合計	3,479,173	3,674,309
負債合計	5,377,429	5,753,971
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	7,362	7,362
利益剰余金	11,338,648	12,505,459
自己株式	—	△374,425
株主資本合計	11,446,011	12,238,397
純資産合計	11,446,011	12,238,397
負債純資産合計	16,823,440	17,992,368

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
売上高	7,561,494	8,485,321
売上原価	2,272,473	2,440,441
売上総利益	5,289,021	6,044,879
販売費及び一般管理費	4,902,144	5,688,486
営業利益	386,876	356,392
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,814	2,390
受取保険料	1,639	10,217
助成金収入	20,494	43,499
預り金取崩益	48,859	—
その他	21,681	26,569
営業外収益合計	95,488	82,677
営業外費用		
支払利息	7,736	10,899
現金過不足	1,618	774
貸倒引当金繰入額	1,944	6,500
支払手数料	17,500	—
和解金	4,078	—
支払保証料	1,013	1,243
その他	445	1,234
営業外費用合計	34,336	20,651
経常利益	448,029	418,419
特別利益		
固定資産売却益	1,781	4,282
投資有価証券売却益	—	9,141
企業結合に係る特定勘定取崩益	2,936	—
その他	115	—
特別利益合計	4,832	13,423
特別損失		
固定資産売却損	—	1,678
減損損失	6,205	96,004
投資有価証券評価損	2,999	—
その他	400	2,082
特別損失合計	9,605	99,765
税金等調整前当期純利益	443,255	332,077
法人税、住民税及び事業税	578,418	115,657
法人税等調整額	△423,876	△950,390
法人税等合計	154,541	△834,732
当期純利益	288,714	1,166,810
親会社株主に帰属する当期純利益	288,714	1,166,810



(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
当期純利益	288,714	1,166,810
包括利益	288,714	1,166,810
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	288,714	1,166,810

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	100,000	9,582	11,087,041	—	11,196,624	11,196,624
会計方針の変更による累積的影響額			△37,107		△37,107	△37,107
会社方針の変更を反映した当期首残高	100,000	9,582	11,049,934	—	11,159,516	11,159,516
当期変動額						
剰余金の配当		△2,220			△2,220	△2,220
親会社株主に帰属する当期純利益			288,714		288,714	288,714
当期変動額合計	—	△2,220	288,714	—	286,494	286,494
当期末残高	100,000	7,362	11,338,648	—	11,446,011	11,446,011

当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	100,000	7,362	11,338,648	—	11,446,011	11,446,011
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益			1,166,810		1,166,810	1,166,810
自己株式の取得				△374,425	△374,425	△374,425
当期変動額合計	—	—	1,166,810	△374,425	792,385	792,385
当期末残高	100,000	7,362	12,505,459	△374,425	12,238,397	12,238,397

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	443,255	332,077
減価償却費	126,402	154,132
減損損失	6,205	96,004
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,289	1,343
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△52,487	△12,739
受取利息及び受取配当金	△2,814	△2,390
助成金収入	△20,494	△43,499
預り金取崩益	△48,859	—
支払利息	7,736	10,899
支払手数料	17,500	—
投資有価証券評価損	2,999	—
固定資産売却損益 (△は益)	△1,781	△2,604
投資有価証券売却益	—	△9,141
企業結合に係る特定勘定取崩益	△2,936	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△109,198	△22,325
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△439,471	△188,993
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	62,287	△57,832
仕入債務の増減額 (△は減少)	41,191	24,304
未払消費税等の増減額 (△は減少)	25,097	△8,605
未収消費税等の増減額 (△は増加)	5,673	△33,683
未払金の増減額 (△は減少)	63,042	14,312
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,741	—
契約負債の増減額 (△は減少)	234,636	197,958
その他	△228,575	△211,499
小計	137,960	237,717
利息及び配当金の受取額	2,806	2,382
利息の支払額	△7,869	△11,035
環境対策費用の支払額	△531,482	△399,330
助成金の受取額	20,494	43,499
法人税等の支払額	△763,730	△607,106
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,141,820	△733,872
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△550,633	△520,642
定期預金の払戻による収入	280,633	520,642
有形固定資産の取得による支出	△267,658	△1,181,721
有形固定資産の売却による収入	3,933	5,035
無形固定資産の取得による支出	△1,790	△9,630
投資有価証券の売却による収入	—	49,141
長期貸付金の回収による収入	4,731	4,806
事業譲受による収入	—	955,588
その他	△15,020	△48,935
投資活動によるキャッシュ・フロー	△545,804	△225,716

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	150,000	—
長期借入金の返済による支出	△21,690	△73,295
長期借入れによる収入	82,191	972,400
社債の償還による支出	△140,600	△140,600
自己株式の取得による支出	—	△374,425
配当金の支払額	△2,220	—
支払手数料の支払額	△17,500	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	50,181	384,080
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,637,444	△575,508
現金及び現金同等物の期首残高	13,842,357	12,204,913
現金及び現金同等物の期末残高	12,204,913	11,629,404

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

当連結会計年度において、当社東京本部及び一部の連結子会社の事業所移転を決議したことにより、移転に伴い利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

また、移転前の事業所の不動産賃貸借契約に基づく原状回復義務に係る資産除去債務についても、償却に係る合理的な期間を短縮して将来にわたり変更したことに加え、原状回復費用の新たな情報の入手に伴い、原状回復費用の見積りを変更しております。

これによる当連結会計年度の連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

（セグメント情報等）

当社グループは、リゾート事業の単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

## （1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
1株当たり純資産額	2,577.93円	3,059.98
1株当たり当期純利益	65.03円	279.59

(注) 1. 前連結会計年度における潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

当連結会計年度における潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在するものの、当連結会計年度末において当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

2. 2023年2月6日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。

3. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	288,714	1,166,810
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	288,714	1,166,810
普通株式の期中平均株式数（株）	4,440,000	4,173,286
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額（千円）	—	—
普通株式増加額（株）	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	新株予約権1種類 新株予約権の数 2,110個 (普通株式 105,500株)

(重要な後発事象)

(連結子会社間の合併)

当社の連結子会社である株式会社エンゼルフォレストリゾートは、当社の連結子会社である株式会社エンゼル那須白河を2023年9月1日付で吸収合併いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合企業の名称 株式会社エンゼルフォレストリゾート

事業の内容 別荘地管理

被結合企業の名称 株式会社エンゼル那須白河

事業の内容 宿泊業及び別荘地管理

(2) 企業結合日

2023年9月1日

(3) 企業結合の法的形式

株式会社エンゼルフォレストリゾートを存続会社、株式会社エンゼル那須白河を消滅会社とする吸収合併方式

(4) 結合後企業の名称

株式会社エンゼルフォレストリゾート

(5) その他取引の概要に関する

組織運営効率化及び人材の有効活用を通じた経営効率化を目的として吸収合併することとしました。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行っております。